

# 宮城県林業普及活動情報

2025. 3月号 No. 202

## もくじ

### 各地の林業普及活動情報

P 2～7

- しばたスプリング・フラワーフェスティバルでの全国育樹祭PR (大河原地方振興事務所)
- 大衡小学校で原木しいたけの植菌体験会を開催！ (仙台地方振興事務所)
- 直売所巡回及び山菜品目の確認等 (北部地方振興事務所)
- 栗駒高原森林組合地区座談会 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 「竹の伐り方勉強会」の開催 (東部地方振興事務所)
- 「松くい虫防除事業研修会」における情報提供 (東部地方振興事務所)
- 森林経営管理制度登米圏域推進会議（第2回）開催 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 「意欲と能力のある林業経営者」経営診断及び就業環境改善指導業務報告会 (気仙沼地方振興事務所)
- 森林組合総代会及び総会におけるメンマづくりに関する取組の紹介と体験会開催周知 (気仙沼地方振興事務所)
- 一迫林間学校の開催 (林業技術総合センター)

## しばたスプリング・フラワーフェスティバルでの全国育樹祭PR

大河原地方振興事務所

【9日(日)】

全国育樹祭記念行事である、しばたスプリング・フラワーフェスティバルにおいて木製ガチャを用いて第48回全国育樹祭開催のPRを行いました。

来場者の関心も高く、「どこで開催するのか」「どなたがいらっしゃるのか」等の質問があり、PR効果は高かったと思われます。

また、全国育樹祭推進室が併せて「カウントダウンフォト」の撮影を行い、家族連れ等が撮影に応じていました。

今後とも気運醸成に努めてまいります。



【PRの様子】

## 大衡小学校で原木しいたけの植菌体験会を開催！

仙台地方振興事務所

【18日(火)】

大衡小学校の3年生児童を対象として、大衡村内の原木しいたけ生産者さんが講師となり、原木への植菌と仮伏せの作業体験が行われました。

この体験は、子どもたちに地元産品への理解を深めてほしいという思いのもと行われており、ここからの2年間で、収穫までの一連の作業を行ってもらう予定です。

作業を体験した児童からは、「2年後の収穫が待ち遠しい」といった声も聞かれ、原木しいたけへの関心が深まったことがうかがえました。

特用林産物生産の振興のため、引き続き生産者等の取組を支援して参ります。



【栽培についての説明の様子】

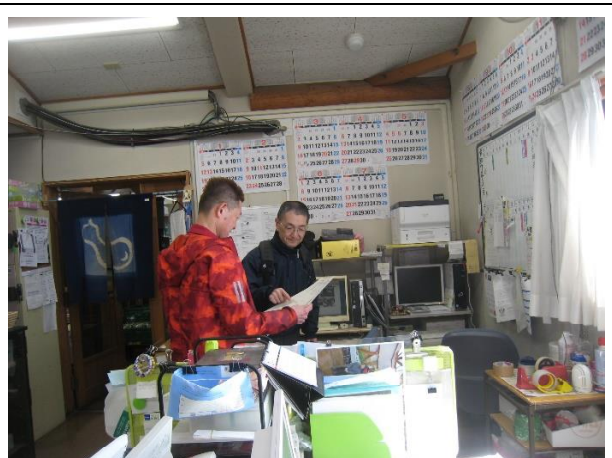
## 直売所巡回及び山菜品目の確認等

北部地方振興事務所

【12日(水)】

地球温暖化の影響により、春の山菜シーズンの訪れが早まっている傾向が見られますが、出荷制限解除品目となっている、くさそてつ(ごみ)等の適切な出荷・販売を徹底するため、産地直売所を巡回し、必要な指導を行いました。

併せて、今後のモニタリングに必要な検体提供依頼と測定の徹底についても口頭で依頼し、あらためて今年度の体制整備について理解されました。



【山菜シーズン到来に向けた指導】

引き続き、安全・安心な出荷・販売が行われるよう指導してまいります。

## 栗駒高原森林組合地区座談会

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【19日(水)】

栗駒高原森林組合が主催する地区座談会が地区毎に2会場で開催され、助言者として出席しました。

当日は、森林組合事務局から今年度事業報告及び次年度事業計画について説明があった後、当事務所からは間伐補助事業の概要を説明し、助成内容や施業集約化の必要性などについて周知を図りました。

出席した組合員（森林所有者）からは、少花粉スギの生産技術や県内生産状況に関する質問をはじめ、組合運営の方向性や現場作業の課題（暑さ対策など）などについて意見が出され、活発な議論が交わされました。

当森林組合では今後、当座談会及び3月25日に開催される総代会で得られた意見を参考にしつつ次年度事業を実施していきます。



【特に少花粉スギ苗の供給について関心の高さが窺えました】

## 「竹の伐り方勉強会」の開催

東部地方振興事務所

【6日(木)】

放置竹林対策及び、竹を切り出す職人である「伐り子」の確保・育成に向けて、当所林業振興部主催で第2回目となる「竹の伐り方勉強会」を開催しました。

前回の振り返りを始め、竹材の現状、竹材生産の注意点の説明、伐採・搬出作業の見学や体験も行いました。参加者からは「実際に竹を扱う業者から話が聞けて参考になった」「可視化された紙媒体の資料が参考になった」などの声がありました。

意見交換の最後に、竹材プラットフォーム（各団体・個人の竹材生産能力等を記載したリスト）の掲載について確認したところ、参加者全員リストへの掲載可との回答をいただきました。引き続き、有用な情報が提供できるよう、竹材店と協力し、企画を立案していきます。



【勉強会の様子】

## 「松くい虫防除事業研修会」における 情報提供

東部地方振興事務所

【26日(水)】

石巻地方松くい虫防除推進会が主催した「松くい虫防除事業研修会」において、今年度実施した海岸防災林における無人ヘリ散布実証事業について情報提供を行いました。

大曲海岸防災林での実施の様子の写真などを用いたスライドを用意し、環境影響調査結果や今後の事業の動きなども交えて行いました。

海岸防災林における松くい虫被害が問題視されているなか、県が行った試験散布結果を森林組合等と共有することで、防除の必要性や散布事業実施の現実性について、検討する機会を提供することができました。

松くい虫防除には関係者の理解と協力が必須となるため、引き続き情報共有を図りながら、より効率的な防除について検討していきます。



【研修会の様子】

## 森林経営管理制度登米圏域推進会議 (第2回) 開催

東部地方振興事務所登米地域事務所

【17日(月)】

第2回目の森林経営管理制度登米圏域推進会議を開催し、令和6年度 of 取組実績と令和7年度の取り組み予定、譲与税を活用した地域林業振興の取組について、検討、情報共有しました。

今後も地域の森林・林業関係者が連携し、経営管理制度を活用した集約化を推進していきます。



【会議の様子】

## 「意欲と能力のある林業経営者」経営 診断及び就業環境改善指導業務報告会

気仙沼地方振興事務所

【13日(木)】

「経営管理実施権の設定を受けることを希望する民間事業者の公表要領」が今年度改正され、適合基準に「外部専門家による経営診断等を受診し、経営強化目標を設定していること」が追加されました。これに伴い、管内の民間林業事業体において経営診断を1月に受診しており、その結果報告会が行われました。

結果報告会では、中小企業診断士から現在の経営状況の評価と課題について説明があったほか、事前に行われた従業員への就業環境に関するインタビュー結果の共有が行われました。今回の報告会の内容を受け、就業環境改善のための目標設定を行い、翌年度には県のフォローアップを行う予定です。



【報告会開催状況】

## 森林組合総代会及び総会におけるメンマづくりに関する取組の紹介と体験会開催周知

気仙沼地方振興事務所

【19日(水)、26日(水)】

放置竹林対策の一環として気仙沼管内では国産メンマづくりに取り組んでいます。

例年、5月中旬から下旬にかけて、気仙沼市及び南三陸町でメンマづくり体験会と称して、実際に竹林からタケノコとして収穫できなかった幼竹を採取し、塩漬けまでのメンマづくり工程を直に体験してもらっています。

そこで、更なるメンマづくりの輪を拡大させるため、まとまった山林面積を所有する組合員が多数出席する各森林組合総(代)会において、メンマづくりに関する取組の紹介を行いました。

竹林でお困りの方、メンマづくりに興味を持っている方、山で汗を流したいという理由でも構いませんので、御興味をもたれた方はぜひ当所までご連絡願います。

【参加者へのお知らせ】  
宮城県気仙沼地方振興事務所

**あなたも国産メンマづくり始めて見ませんか？**

**例年、5月中に気仙沼市及び南三陸町でメンマづくり体験会を開催しており、実際にメンマづくりを体験することが出来ます。**

**御興味がある方は、下記までご連絡願います。**

**よろしくをお願いします。**

### <連絡先>

宮城県気仙沼地方振興事務所林業振興部林業振興班(佐藤)

0226-24-2535(電話)

0226-24-8994(FAX)

ksbrs@pref.miyagi.lg.jp(メール)



### ※↑<連絡先>

気仙沼地方振興事務所林業振興部  
林業振興班

(電話) 0226 - 24 - 2535

(FAX) 0226 - 24 - 8994

(メール) ksbrs@pref.miyagi.lg.jp



### 【総(代)会における周知状況】

【参加者へのお知らせ】  
宮城県気仙沼地方振興事務所

放置竹林解消を目指した「気仙沼産メンマ」づくり

1 メンマづくりの概要

近年、問題視されている放置竹林の拡大に対処するための対策の一つとして、新たな地域産品の商品化による竹林の活用を目的として、令和元年度から気仙沼市松川地区の方々と一緒にモウゾウチを使ったメンマ作りを開始しました。

【メンマが完成するまでの主な工程】

| Step 1                                                                     | Step 2                                                              | Step 3                                        | Step 4                                                       |
|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 幼竹の収穫                                                                      | 下ゆえ・下処理                                                             | 塩漬け・発酵                                        | 天日干し                                                         |
| メンマ作りでは1〜3m程度の幼竹を使い、節と節の部分を削ぎ取り、長さ約15cmにカットします。節と節の部分を削ぎ取り、長さ約15cmにカットします。 | 収穫した幼竹は、葉を剥き、節と節の部分を削ぎ取り、長さ約15cmにカットします。節と節の部分を削ぎ取り、長さ約15cmにカットします。 | 削ぎ取った幼竹は、約10日間塩漬けて発酵させます。発酵後は、約1ヶ月間天日干しを行います。 | 発酵・天日干ししたものを、約10日間天日干しし、乾燥させて完成です。乾燥後は、約1ヶ月間天日干しし、乾燥させて完成です。 |

2 対応・取組

(1) 令和5年度までの取組

令和3年度までにメンマの製作工程を確立し、市内の直売所等にて試験販売を行い、令和5年度には、完成したメンマを仙台市内のラーメン店が開催したイベントにて、ラーメンの具材として使用していただきました。現在、生産量の増加が課題となっておりますが、手作業の工程が多く、大量生産が困難であるため、今年度からは生産者数を拡大して取組んでいます。

(2) 令和6年度の取組状況

令和6年度は、生産者数の拡大を図るため、気仙沼市松川地区に加えて、気仙沼市本吉町等の集落地区及び南三陸町の3つの拠点でメンマづくりを行っています。

また、農業振興部と連携を図り、農業者が組織する生活研究グループ等に対してメンマづくりに関する情報提供及び指導を行っています。

|       | 気仙沼市松川    | 気仙沼市本吉町   | 南三陸町      |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 作業開始日 | 令和6年5月17日 | 令和6年5月22日 | 令和6年5月28日 |
| 生産量   | 26kg      | 72kg      | 16kg      |
| 参加者   | 13名       | 14名       | 13名       |

気仙沼市松川地区の皆さん  
松川地区の皆さん  
南三陸町生活研究グループ連絡協議会

気仙沼市本吉町では道の駅大森海岸で「特選上つゆメンマ」として販売が開始

### 【メンマづくりに関する周知チラシ】



## 一迫林間学校の開催

### 林業技術総合センター

【20日(木 祝日)】

一迫林業研究会が、グーグル検索で景勝地アイコン「長崎の水車」の表記がみられる栗原市一迫町萩迫において、一般公募により一迫林間学校を開催されたので、渥美宮城県林業研究会会長に随行させていただきました。

林間学校の今回のお題は、この水車作りです。水車は、2年程度で、林間学校により更新されているとのこと。

スタッフの合い言葉は「教えないでいて教える」でしたが、最後に、水車が正12角形となるよう、齋藤棟梁がチェックしました。

昼食は、会場となった門傳元一迫林業研究会会長の農場でとれたお米で作ったカレーのほか、サラダ、お魚のフライが提供されました。

昼食後、完成した水車を、水路に設置し、記念撮影。高橋一迫林業研究会会長が閉会を宣言しました。

栗駒高原森林組合、県北部流域林業活性化センター栗原支部、長崎地区コミュニティー推進協議会、一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク、マルロク佐藤製材所、宮城県林業研究会連絡協議会、栗原市、県は、この素晴らしい取組を支援させていただいています。



【完成した水車を背に記念撮影】